

雄阿寒岳の火山活動解説資料（平成 27 年 5 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1 ～ 3）

18 日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は認められませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、以前から見られている北側斜面の地熱域以外に地熱域は見られず、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 雄阿寒岳 周辺図
（矢印は写真及び赤外熱映像の撮影方向）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 26 情複、第 658 号）。



図 2 雄阿寒岳 南東側斜面の状況
図 1 - から撮影

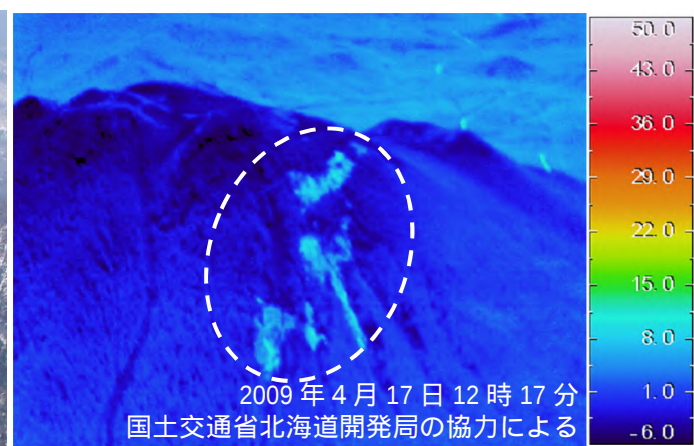
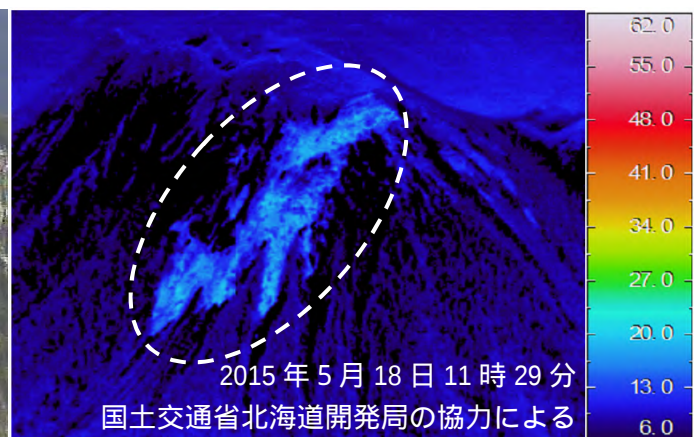
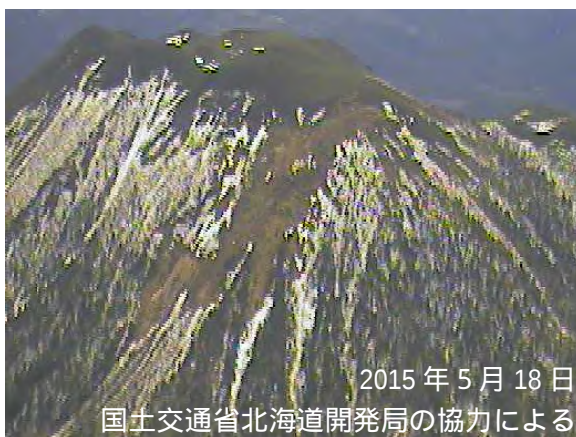


図 3 雄阿寒岳 北西側斜面の地表面温度分布
上：図 1 - の方向から撮影、下：図 1 - の方向から撮影
楕円内は北側斜面の地熱域